

ごんた坂

第20号



(光陵高校同窓会会報)

〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会 〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト

目次

- 総会・懇親会のご案内 (特別講演 7期 あさみ順子氏) …… 2
- 平成26年度総会議事報告 …… 3
- 特集 先輩、教えてください!! …… 4
- 特集 光陵の新たな取り組み「KC」とは …… 7
- 特集 創立50周年～特別な音と想い～ (5期 波木井賢氏) …… 8
- 学校近況報告 (合格状況・部活動実績・教職員異動) …… 11
- 光陵会からのお知らせ・卒業生からの便り …… 12



昨年度特別講演
長瀬啓介氏 (16期)

会長挨拶

会長 太田 秀和 (2期)



私たちの母校光陵が創立50周年。今年11月24日、神奈川県民ホールで記念式典を挙行いたします。

2期生の私達が昭和42年4月に入学したのは、根岸線の山手駅の近くにある、将来、横浜国立大学の付属高校になるといわれていた神奈川県立横浜立野高校山手分校でした。1期生は98名で2クラス。校歌も応援歌もなく、グラウンドもありませんでした。横浜国大付属小学校のグラウンドと体育館を借りていました。昼休みになると付属小の大音量のスピーカーで「高校生はグラウンドから出なさい、小学生にぶつかったら危険だ! 運動はすぐにやめなさい」と毎日のようにどなられていたものでした。

校章は立野高校のもので、他校の生徒からは「分校か、神奈川県で分校は確か2つだな。横浜で分校とは、希少価値があるな」と言われたり、校名が2年生の時に光陵が変わると「広島の広陵高(甲子園大会の常連校で野球が強い)の生徒がなぜ横浜にいるの」と不思議がられました。

小さな小さなボロ校舎の高校でしたが、全校生徒213名で仲間意識が強く、運動も勉強も盛んでした。校舎は劣悪でしたが、先生方も一体感があり、まさに光陵ファミリーでした。

ちなみにボロ校舎で過ごした1期・2期・3期生は、現在の校舎で授業を受けていません。移転後初めて訪問した時には現校舎がピカピカで、たいへん立派な建物だとうらやましく思ったものでした。

当時、受験の際に、はやっていたのは、「〇〇大学に光陵生として最初に合格すること」でした。いろいろな大学にチャレンジするため全国に散りました。ちなみに北海道大学に最初に合格したのは私、太田でした。

先生方も個性の強い方が多く、勉強以外でも大きな影響を受けました。私は化学担当の加瀬均先生から特に多くの教えを受け現在に至っています。現在の私があるのは光陵のおかげだと思っています。同窓会長を43年間務めさせていただいているのも、感謝の気持ちの一端です。

我々、卒業生を育ててくれた光陵の50周年記念式典に、光陵会は記念誌の発行と記念演奏会の費用の800万円を担当することになりました。我々の歴史を残してくれる記念誌の刊行に向けて、その編集にも事務局の若い学生の皆さんと社会人のスタッフが、忙しい中がんばってくれています。

ここで卒業生の皆さんにお願いしたいのは、800万円の費用にご助力をいただきたいということです。今後光陵会から改めて寄付のお願いをさせていただきます。ぜひお力をお貸しください。

記念式典の成功と光陵高校のこれからの50年のご発展を心から願っております。

事務局長挨拶

事務局長 山下裕太郎 (45期)



「1964年東京オリンピック」と聞いて、皆様はどのようなことを思い浮かべるでしょうか。私の世代にとっては歴史の授業で覚えた出来事の一つですが、中には、当時テレビに釘付けになった方や、会場に応援に行った方がいらっしゃるかもしれません。その東京オリンピックが開催された頃に光陵高校は創立し、来年ついに50周年を迎えます。

50周年を迎えるにあたり、今回、特集企画として1期、10期、25期、33期、49期の5名の方々に集まっていただき、座談会を行いました。まさに今高校生活を送っている現役生と、別々の高校生活を送った、異なる道を歩まれた4名が、ただ一つ「同じ高校に在籍した」という共通点のもと、母校の思い出を語り、母校を思う。そんな姿を見て、半世紀もの「縦のつながり」を感じました。これは、歴史に勝る光陵の財産だと思います。

現在、光陵高校では11月に行われる50周年の記念式典に向け、さまざまな準備が進んでいます。光陵会事務局も記念式典はもちろんのこと、その先の50年に向け、光陵を支え、盛り上げていきたいと思っております。ご支援ご協力のほど、よろしくお願いたします。

光陵高校の節目となる年の、記念すべき『ごんた坂』第20号の発行にあたり、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。この会報を読んでいたいただいた皆様に「縦のつながり」を感じていただけたら幸いです。



光陵会役員と事務局

平成27年度 光陵会総会・懇親会のご案内

● **総 会** 平成27年6月13日(土)
14:00～(13:30より受付)

会場：光陵高校視聴覚室
(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)

※上履きをご持参ください。
※お車でのご来場はご遠慮ください。
※校舎内の見学も可能です。お早目のご来場をお勧めします。

● **懇親会** 平成27年6月13日(土)
18:00～(17:30より受付)

会場：ワークピア横浜(横浜市中区山下町24-1)

会費：一般料金 …………… 7,000円
特別料金(現旧職員) …………… 5,000円
(ご夫婦) …………… 10,000円
(学 生) …………… 1,000円

～特別講演～

「人生は解けないパズル」

—パズル作家が語る光陵生としての楽しみ方
最後に浮かび上がる解答は！

講 師 あさみ順子(浅見順子)氏
(7期 パズル作家)



略 歴

東京大学理学部生物学科卒。1980年代まで情報誌『ぴあ』でパズルコーナー編集者・作家。その後、多数のパズル誌、一般誌にクロスワード、ナンバープレース、迷路などさまざまなパズルを提供。

講演内容

「パズル作家という職業を特に選んだわけではありませんが、出た所勝負を重ねるうちにいつのまにやら専門家。」光陵高校の初代女性生徒会長が東京大学進学時の思い出などを振り返りながら自由闊達に語ってくださいます。

ワークピア横浜にて懇親会を開催!!

今年度もワークピア横浜にて懇親会を開催いたします。総会からご参加いただく方には、懇親会会場まで交通手段をご用意させていただきます。

※特別料金(ご夫婦)はパートナーが光陵高校の卒業生でなくても結構です。

※ご不明な点などございましたら、下記メールアドレスにご連絡ください。

MAIL : staff@koryokai.jp



みなとみらい線	日本大通り駅3番出口	徒歩 5分
J R 根岸線	関内駅南口	徒歩 15分
J R 根岸線	石川町駅北口	徒歩 13分
横浜市営バス	26系統 大棧橋下車 2,8,20,58,109系統 芸術劇場・NHK前下車	

お手数ではございますが、ご都合のほどを同封のハガキ、またはメール(staff@koryokai.jp)にて**5月29日(金)**までにお知らせください。また、**当日参加も歓迎**いたしますので、ぜひお越しください。その場合には、上記のメールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。

7期生、17期生、27期生、37期生(卒業アニバーサリー期)の皆様へ

7期、17期、27期、37期の皆様は、卒業から40年、30年、20年、10年を迎える『卒業アニバーサリー期』です。これを機に、当時担任をされていた先生やご友人の方々をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加下さい。

～同期会・クラス会を開こう～

光陵会事務局では、同期会・クラス会のサポートを行っておりますので、お気軽にご相談ください。

光陵会事務局 staff@koryokai.jp

同窓生向けSNSのお知らせ

卒業後の交流の場として同窓生向けのSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせはこちらへお願いいたします。

URL : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL : koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運 営 : 光陵会メーリングリスト([koryo.gr.jp](http://www.koryo.gr.jp))



昨年の6月21日に平成26年度総会が光陵高校第一視聴覚室にて開催されました。以下の議事項目は承認されました。また、事務局から活動報告が行われました。

- ①平成25年度決算報告 ②平成26年度予算審議
③平成25年度役員解任 ④平成26年度役員承認

加えて、事務局が発議した会則改正案が承認されました。主な変更点は以下の6点です。

Table with 2 columns: 変更点 (Changes) and 理由 (Reasons). Items include: (1) 準会員の開設, (2) 退会規定の新設, (3) 監査・事務局を役員から分離, (4) 役員と事務局の任期統一, (5) 役員会に議決権, (6) 定足数から住所不明者を除外.

(45期 村上将)

光陵会賛助金芳名簿

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通り、皆様の温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、ここにご報告いたします。

今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。(以下、敬称略)

【総会・懇親会時に賛助金をいただいた方】

- 千葉 孝 (1-1) 太田 秀和 (2-2) 大道 正夫 (4-1)
山本 勉 (4-1) 田中 博之 (4-2) 川越 桂 (5-2)
小田切信之 (6-1) 遠藤 主計 (6-3) 豊泉 千鶴 (6-4)
佐藤 徹也 (10-4) 長瀬 啓介 (16-1) 岩佐久美子 (16-3)
下村 有子 (18-2) 武藤 壮輝 (28-4) 佐藤 正知 (31-3)
佐藤 竜太 (旧職員)

会計報告

平成26年度決算 (14/03/01 ~ 15/02/28)

Income statement for Heisei 26 fiscal year. Total income: ¥22,570,411.

(支出の部)

Expense statement for Heisei 26 fiscal year. Total expenses: ¥2,417,569. Net income: ¥20,152,842.

平成27年度予算案 (15/03/01 ~ 16/02/29)

Income statement for Heisei 27 budget. Total income: ¥31,552,842.

(支出の部)

Expense statement for Heisei 27 budget. Total expenses: ¥12,214,000. Net income: ¥19,338,842.

平成26年度光陵会役員・監査・事務局

Table of officers for Heisei 26: 会長 (太田 秀和), 副会長 (大道 正夫, 山本 勉), 理事 (藤原 真人, 藤原 直人, etc.), 監査 (上原 武, 柿崎 祐一), 事務局 (山下裕太郎), 書記 (山本 航介, 村上 将).

平成27年度光陵会役員・監査・事務局

Table of officers for Heisei 27: 会長 (太田 秀和), 副会長 (大道 正夫, 山本 勉), 理事 (藤原 真人, 藤原 直人, etc.), 監査 (上原 武, 柿崎 祐一), 事務局 (平井 裕夏), 書記 (村上 将, 村越 萌香).

先輩、教えて下さい!!

今年で創立50周年を迎えた光陵高校。その歴史の中で、光陵はどのような変化を遂げていったのでしょうか。今回の座談会には、大先輩である1期から現役バリバリの49期までの5名と、光陵会事務局2名を加え、各世代の光陵生が一堂に会しました。在学当時の思い出を語り合う中で、世代とともに移り変わるもの、変わらず受け継がれるもの、それぞれに思いをはせました。

修学旅行の思い出は？

安藤(45)：高校の思い出話と言えば、やはり修学旅行だと思います。皆さん行き先はどちらでしたか？

大隅(10)：私の時は山陰でしたね。

千葉(1)：ほとんど一緒です。天の橋立から関東方面に行きました。

上原(25)：それは班を決めて行きましたか？

大隅(10)：そうです。私の頃は特に規則がなく、服装も自由でした。

全体行動も少しはありましたが、印象としては友達との旅行のようでした(笑)。

千葉(1)：僕の時は制服を着て、集団で行動するようと言われてきました。全体的にきっちりとした印象でしたね。

平山(46)：世代によってずいぶん違うのですね。日野さんたちは、もう行き先は決まっていますか？

日野(49)：飛行機で鹿児島に行くみたいです。

高木(33)：私の時は飛行機が使えなくて、片道6～7時間の電車の旅でした。

平山(46)：それは大変でしたね…(笑)。

千葉(1)：僕らは1クラス50人だったので、バス2台で移動していました。

バスガイドさんに校歌を歌ってみてとリクエストさ



懐かしい教室で思い出話に花が咲きます

れて、とても困った記憶があります。実は、校歌が作られたのは私たちが卒業する直前だったのです。

安藤(45)：それは知りませんでした！1期生は校歌を歌う機会がほとんどなかったんですね。

上原(25)：僕の期は金沢に行って、九谷焼きの体験などをしました。やはり、楽しかった思い出ばかりですね。

千葉(1)：皆さんの場合は、先生方が生徒の自主性に任せてくれていたようですね。僕の頃は30代くらいの血気盛んな先生方が、いい学校を作りたいという使命感に燃えていた！君たちは光陵の歴史を作るんだと、よく言われていました。

平山(46)：だからこそ、服装や集団行動などにも厳しかったのでしょうかね。

プロフィール紹介

高校時代に所属していた部活動と近況



10期 大隅香織さん

水泳部。介護の資格取得のため専門学校に通学中。



33期 高木寛奈さん

体操部。理学療法士として働く、明るく優しいママ。



45期 安藤えり子(事務局)

バスケット部マネージャー。大学ではバドミントンに挑戦。光陵会のアイドル。



1期 千葉 孝さん

テニス部。定年を迎え第二の人生を謳歌中。孫の笑顔が生きがい。



25期 上原 武さん

卓球部。公認会計士。パパ1年生、育児奮闘中。現光陵会監査。



49期 日野涼香さん

合唱部。生徒会役員として光陵生を支える2年生。



46期 平山 竣(事務局)

サッカー部。地域のサッカークラブで指導に明け暮れる日々。

卒業生同士での結婚！

- 平山(46)：**光陵会の懇親会などの場で、光陵の卒業生同士のご結婚が多いと聞いたことがあるのですが。
- 大隅(10)：**多いです。びっくりするくらい。お見合いをしたら、たまたま相手も光陵生だった、というケースを少なくとも2組は知っています。
- 千葉(1)：**数十年ぶりのクラス会で再会して、そこから付き合い始めた人たちもいました。やはり光陵生同士だと共通点があって、話が合うんでしょうね。
- 高木(33)：**実は、私も主人が光陵の同期なんです。結婚までいかなくとも、高校のときは関わりが少なかつた人と、同窓会を通じてつながりが広がっていくことを最近強く感じます。卒業してからも同級生との交流が深まるのは、光陵の特徴だと思います。
- 安藤(45)：**光陵生には通じるものがあるのでしょうか。これから同級生同士の結婚や、同窓会での新たな出会いが楽しみです。



楽しい時間に笑みがもれます

予備校には通わなかった!?

- 平山(46)：**入試や勉強の様子についてもお聞きしたいと思います。
- 大隅(10)：**当時、光陵には公立中学校のトップの子たちが来ていましたが、附中（横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校）には別枠で光陵に入学できる制度がありました。
- 日野(49)：**今も1クラス分の枠があると思います。
- 大隅(10)：**中学生はア・テスト（※）という試験を受けていて、附中生はその成績で光陵に入れる人が決まる仕組みだったようです。
- 千葉(1)：**僕の時はそんな制度はなかったな。
- 日野(49)：**優秀な生徒が集まっていたのですね。正直、光陵に入ったら勉強ばかりかと思っていたのですが、今のところ周囲もガツガツ勉強という雰囲気はないです。
- 千葉(1)：**皆さん、ガツガツしなくてもお勉強できちゃうんでしょう？
- 安藤(45)：**光陵生にはそういう人が多いと思います。私の友達にも、部活に打ち込んで授業中に居眠りま

告白の仕方は？

- 安藤(45)：**結婚に続き恋愛の話題です。最近はLINEというスマートフォンのアプリを使って告白して、それだけで付き合ってしまうカップルもいるようです。告白の仕方がどのように変わってきたか、皆さんのお話を伺いたいと思います！
- 一 同：**え～(笑)。
- 千葉(1)：**どの世代でも、やっぱり直接伝えるのが一番ですよ。と言いつつ、僕は気が弱くて言えなかったです(笑)。
- 安藤(45)：**どのように相手呼び出していたのですか？
- 大隅(10)：**電話ですかね。最近では携帯に電話するのがあたりまえだけど、当時は家の電話にかけないといけなかった。男の子はみんな電話をかけるのを嫌がっていましたね、親が出たらと考えると(笑)。
- 平山(46)：**時間帯も気にしないといけませんね。上原さんや高木さんの頃はどうでしたか？
- 高木(33)：**中学～高校の時はポケベルを持っていたので、それで呼び出していましたね。
- 上原(25)：**1回に送れる文章が短いので、しっかり考えて送っていました。
- 安藤(45)：**スマホで自由にやり取りできる私たちには想像できません(笑)。

でしているのに、返却されたテストを見ると90点。いったい、いつどこで勉強しているのだろうと不思議に思っていました。

- 千葉(1)：**僕もそういう経験があったな。一緒に部活行ったり遊んだりしているのにね。
- 平山(46)：**一方で、最近は塾や予備校に通う人が増えていと感じます。
- 日野(49)：**私はまだ通っていませんが、周りでは通い始める友達が増えてきました。
- 千葉(1)：**今は予備校に行くのが当たり前でしょう？僕たちの頃は、通っている人は少なかった気がする。むしろ、通っている人は変わり者扱いされる、そんな雰囲気があった。
- 大隅(10)：**10期でも同じような傾向でした。今のように、毎日通うという習慣はなかったですね。
- 上原(25)：**そうですね。僕の時は、部活を引退してからは勉強一本と、きっぱりとけじめをつけて勉強している人が多かったです。
- 平山(46)：**今でもそういう人は多いですね。ただ、予備校に通わないのが普通だったというのは驚きです。

※ ア・テスト(アチーブメントテスト)とは？

全国で行われていた中学生の学力テスト。特に神奈川県では、高校入試の判定に含まれる重要なテストだった。科目は国数英理社だけでなく、実技科目(美術・体育など)の筆記もあり、当時の中学生には大きな負担となっていた。いわば、「高校入試版センター試験」。

大学進学が目的ではない！

安藤(45)：日野さんはもう大学のことを考えていますか？

日野(49)：いえ、考えなきゃとは思っているのですが…。高校主催のキャンパスツアーに参加した程度です。

千葉(1)：そうなんだね。私は自分の成績で入れる大学に、浪人しないで無事に入るのも良いことだと思います。でも、私の時代には「浪人してでもこの大学に行きたい」という強い思いを持っている人が多くいましたね。

大隅(10)：今の受験生は、浪人するとまた予備校1年分の費用がかかってしまって、親に迷惑をかけてしまうという思いがありますよね。あと、受験自体もいろいろ方式があつてすごく費用がかかります。だから、受験・浪人にかかる費用が私たちとはずいぶん違うと思います。

安藤(45)：実は、私も経済的な理由で浪人はできませんでした。浪人して第一志望の大学に合格できた人の話を聞くと、うらやましく思う反面、やはりかなりの費用がかかることがわかります。

上原(25)：僕は光陵会で進学実績を毎年見てきたので、塾に通う子が増えている一方で、実績がいまひとつ伸びないのは寂しいと感じています。僕の頃は350人中現役で3.4人、浪人を含めると10人弱くらい東京大学に進学していたかな。

大隅(10)：今となっては他校に進学実績で劣っていると言われますけど、当時はそんなことなかったです。でも、昔から光陵は大学受験だけを意識しているわけじゃないですよ。私たち10期生は、全員が数Ⅲまでやっているんです。あれはいつまで続いたんですかね？

高木(33)：私の時にはもう選択制でしたね。

上原(25)：必修が多かったと思います。私は文系でしたが、理科2科目が必修なのは続いていました。



勉強に対する姿勢など、話に熱が入ります

平山(46)：他の高校では、2年生から文系と理系でクラスを分けている場合が多いようです。でも、光陵では今でも分けて授業を受けています。

大隅(10)：文系・理系の壁を越えて学ぶ姿勢は変わっていないですね。光陵ならではの伝統ですね。

千葉(1)：一見、無駄に思えることでも、やってみていいんじゃないかなって気がします。意外なところで役に立つかもしれない。

安藤(45)：目先の受験ばかりを気にせず、幅広い視野をもって学べるのは光陵の特徴だと思います。

やっぱり光陵で良かった！

平山(46)：高校時代を思い返してみると、自分はまさに目先のことしか考えていませんでした。今回、皆さんのお話を伺い、これからはもっと広い視野をもって自分のやりたいことを見つけないかと思いました。

上原(25)：まずはトライしてみることで大切だと思います。僕自身、いろいろ経験してみたからこそ、今につながっていると感じています。そういう意味では、光陵ってトライする機会に恵まれていると思います。光陵会もそうですよね。とても貴重な機会をたくさんもらえて。

千葉(1)：目先の学歴などにこだわらず、いろいろなアンテナを広げて幅広く吸収していけば、おのずと選択していけますよね。

大隅(10)：その点で、光陵の先輩方は様々な分野で活躍されているので、大いに刺激になると思います。光陵SNSに登録すれば、校歌祭などに参加できて光陵の先輩たちとつながれます！

高木(33)：光陵の友達に会うと、幅広い分野でそれぞれ頑張っている姿に元気をもらえます。これは、辛いことがあったときも強い支えになりますね。

日野(49)：私はまだ光陵1年目なので、これから光陵でより多くのことを吸収したいと思います。そして、卒業して社会に出た後、光陵生として先輩方に負けなくらい活躍したいと改めて感じました。

安藤(45)：同期との横のつながりだけでなく、先輩方との縦のつながりも強いというのは貴重だと思います。そんな光陵の伝統をこれからも守っていきたいですね。

あとがき

世代によって光陵での思い出は様々で、終始驚きと笑いの絶えない時間でした。一方で、理系・文系の枠にとらわれず幅広く学び、自らの糧にしようとする姿勢など、変わらずに受け継がれているものもあります。そして何より、初対面でも世代を越えて語り合える、光陵生のつながりこそが、脈々と続く光陵の伝統なのだ実感しました。

(45期 安藤えり子 46期 平山竣、長尾沙津季)

光陵の新たな取り組み「KC」とは

光陵高校では近年「KU ※1」「KST ※2」といった独自のカリキュラムを導入してきました。そして昨年度より、新たに「研究開発指定学校 ※3」として光陵キャリアデザイン(以下KC)を取り入れました。今回は実際にご指導されている佐々木澄子先生と藤沼総輔先生より光陵高校が取り組むキャリア教育についてお話をうかがいました。

将来の生き方を考えるために

光陵高校は文部科学省の研究開発学校に選ばれ、独自の授業を展開しています。昨年の会報に掲載した総合的学習KUに加えて、今回ご紹介するKCが授業に加わりました。

受験学力に代表される従来の学習では、価値観が多様化し、変化し続ける社会に対応できないと佐々木先生はおっしゃいます。「KCの目標は、生徒が社会に出た時に、その社会とのつながりの中で自分の立ち位置を見出していくことにあります。また生徒は今後の人生において、様々な壁に立ち向かうことになります。その時、その壁を乗り越えるために問題一つひとつを解決する能力や姿勢を育てることも大きな目標です。」

KCの授業を通して、生徒1人ひとりが早いうちから勤労観、職業観を持ち、社会との関わり方、一生を見据えた生き方について考えられるようになることを目的としているようです。



KCについて佐々木先生(写真左)からお話を聞く46期石瀬(同右)

具体的な取り組み

～ブラック企業について学ぶ!?～

生徒たちはどのような授業を受けているのでしょうか。一昨年は横浜国立大学や東京大学の先生方に講演していただき、自分が就職するとき社会がどのようなになっているかを考える場を設けました。またNPOやいわゆるブラック企業に関わっている方たちの話を聞き、様々な職業について知る機会も作りました。「キャリアを考えるにあたって生徒たちは知らないことがたくさんあります。社会環境や、様々な働き方を知ること、幅広い将来の選択肢があることに気づいてもらいたいです」と語る佐々木先生。

他にも従来から行っている養護学校との交流やキャンパスツアーもKCの一環として取り入れています。話を聞いて考えることに加え、実際に経験することで具体的にキャリアを考えてもらいたいのことです。

KCの課題と展望

しかし、自分が社会に出るのは先のこと…生徒たちの反応はまだ薄いようです。藤沼先生は「大学進学など目の前の目標は具体的に考えられますが、社会に出た時のイメージを持つことはまだ難しいようです」と現状を話されます。

今は始まったばかりのKCですが、生徒たちにアンケートを取り、よりよいKCの授業を創り上げていこうとしています。「今後はただ難関大学に行きたい、といった目標ではなく、この職業に就きたいからこの大学に行きたい」といった声が出てくるようにしたいとのことです。光陵高校は学力向上進学重点校 ※4 に選定されていますが、ブランド力だけで大学を選ぶのではなく、自分の生き方を考え、様々な進路選択をする生徒が増えるのではないのでしょうか。

- ※1 光陵ユニバースの略称。総合的学習の時間として生徒自身が研究テーマ選定、発表などを行う授業。
- ※2 光陵スタディタイムの略称。1、2年生全員が週2回授業後の15分間に数学、英語いずれかのテストを行う。
- ※3 文部科学省の研究開発学校制度に指定された学校。教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程(カリキュラム)や指導方法を開発するため、学習指導要領等の国の基準によらない教育課程の編成・実施を認める制度。光陵高校は2012年度より指定を受けた。(文部科学省HPより http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenkyu/index.htm)
- ※4 神奈川県教育委員会の「学力向上推進及び特色のある県立高校づくり推進事業」の中で、光陵高校は2007年度より「学力向上進学重点校18校(スーパー高校)」の指定を受けた。(光陵高校HPより <http://www.koryo-h.pen-kanagawa.ed.jp/shinro/gakuryoku.html>)

まとめ

光陵高校は50周年を迎えますが、今回の取材を終えて、進路指導を熱心に取り組むような良い伝統を引き継ぎつつ、時代に合った新しい教育が行われているのだと感じました。今は始まったばかりのKCですが、これからさらに改善され、より効果的な取り組みになっていくことでしょう。そう考えると60、70、…100周年と光陵高校が成長していくにつれて、今後どのような教育が行われ、どのような人材が輩出されていくのか楽しみです。

(45期 村上将 46期 村越萌香、石瀬智也)

創立50周年 ～特別な音と想い～

とうとう光陵高校は50周年を迎えます。そこで今回は、今秋開催される50周年記念式典にて『特別な』演奏をしてくださる、5期の波木井賢さんにお話をうかがいました。光陵高校在学中から現在に至るまでのさまざまな葛藤や想い、そして演奏にかける想いを熱く語っていただきました。



ヘボウ大ホールを背にする波木井賢氏

波木井 賢

profile

光陵高校5期生。東京芸術大学修士課程修了。東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者を経て、1982年にケルン音楽大学へ留学。1985年にロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団入団、1992年より第一首席ソロ・ヴィオラ奏者。ソリストとして活躍する一方、妻であるヴァイオリン奏者の菊地裕美氏と国際音楽祭に出演。スカラ座オーケストラとの演奏でイタリア音楽批評家賞FRANCO ABBIATIを受賞。G.クルターク作品集のCDが2003年ニューヨーク・タイムスのベストCDに選ばれたほか、数多くの世界的賞を受賞。

光陵高校から音楽の世界へ

幼少期からヴァイオリンを習っていた波木井さんが進学したのは、音楽科のない光陵高校でした。

「中学2、3年生くらいの時に、ヴァイオリンの先生に『進

路はどうするの?』と聞かれたんですよ。音楽が好きだったので、音楽だけでやっていけるなら嬉しいなあとは思ってはいたんですけど。そうは思いながらも当時は深い考えを持っていただけではなく、サッカーやバレーボールなど

の趣味をしながら、横浜国立大学附属横浜中学校から光陵高校へ進学した波木井さん。楽しい青春を過ごしながらも、次第に将来を考えるようになりました。そして、やはり音楽の道へ進むことを決意し、東京芸術大学に進学しました。順風満帆な経歴に見えますが、悩みもあったようで「本当に大丈夫かな。自分ができるかなという不安はものすごくありました」と当時を振り返ります。「芸大に入れた時はものすごく嬉しかったんですけど、入ってから周りを見回して、レベルの違いに『これは大変だ』と(苦笑)」

自身を「あまり勤勉に練習する人間じゃなかった」と謙遜する波木井さんですが、大学修士課程修了後は東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者を経て、ケルン音楽大学へ留学。そうして、現在も在籍されているロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団(*1)へ入団します。

ヘボウ入団のきっかけは「たまたま」!?

「小さい頃から『音が好きなオーケストラ』というのが三つあって、ヘボウはそのうちの一つでしたね」と語る波木井さん。そのヘボウに波木井さんが入団したのは1985年のことでした。

「私がケルンでついていたヴィオラの先生がこの小ホールで室内楽をやったんですよね。その時にもう一人のヴィオラ奏者が当時の一番ソロの方で、『ちょうど二番ソロが空いているよ』と。それで先生に『じゃあお前受けてみるか』と言われて、私としても一回この大ホールで弾けたら幸せだと思ったんです。それだけで素晴らしい体験だと思って。そうした思いで挑んだオーディションでは「当時としては一番いい演奏ができた」そうで、波木井さんは見事ヘボウに入団しました。そして、7年後には首席のオーディションにも合格、晴れて首席ヴィオラ奏者となりました。波木井さんは当時を振り返ってこう語ります。「ちょうどあの時、先生がこの小ホールでコンサートをやらなかったら、オーディションがあるなんて知らなかったわけだし、そのまま日本に帰っていたと思います。そう考えると、ターニングポイントというか、運って不思議ですね」。

ヴィオラのポジション

その経歴に比して物腰の柔らかい波木井さんは、音楽への思いを次のように語っています。

「私の周りには最高級の指揮者や演奏家(*2)がいますが、自分としては肩を並べているというよりは、足元の近いところで見させてもらっている感じで、幸せだなと思います」。これは、オーケストラの中でのヴィオラのポジション(位置)が、指揮者の足元であることから出た言葉

でしょう。さらにヴィオラという楽器については「ソロじゃないので、周りから力をもらって何とかやっています(笑)。音楽に限らず、多くの人は、何人かの人と共同して作業していくっていうことが多いと思うんですよ。そういう場合、『自分のキャラクター』に合ったポジションを発見することは大事だと思いますね。ヴィオラって、野球で言えば『一塁手や三塁手じゃなく、二塁手』みたいな感じで。私のキャラクターに合っているなど(笑)」

また、演奏にかける想いは熱く「音ひとつ出すにしても、芸術になるかならないかという大きな違いがあります。よく『音ひとつに生命力をかける』と言われるんですよ。今日弾くのは生命の危機にあると思うこともあるくらいで、明日はできないか思いますから(笑)」と語っていらっしゃいました。

世界初の演奏会！ 先入観なしで聴きにきてほしい

今回の50周年記念演奏は、波木井さんのヴィオラのほかに、音楽仲間のクルターク・ジュニア氏(*3)によるシンセサイザー(*4)が入るという珍しい構成。この合奏については「コンサートホールでは未だに演奏したことはないですね」とのことで、世界初の試みになる予定です。伝統あるヴィオラ、ヴァイオリンの温かい音と、シンセサイザーの電子的な音色がどのような音響空間を形作るかは未知数。演奏会については、あえて事前準備は必要ないとのことでした。

「『これはこういう曲です』という解説を見て、読んでから聴くのも一つの楽しみ方だとは思いますが、『解説が必要だったら逆に演奏とは呼べない』みたいなところもあると思うので(笑)クラシックの普通のレパートリーをやっても、もちろんそれはそれとして皆さんに楽しんでもらえるとは思いますが、どんな方にも興味を持っていただけるというか、印象に残るような演奏をしたいですね。クラシックとかオペラとかいうジャンルではなくて、弦楽器とシンセサイザーを組み合わせる『新しい音』を体感してもらえたらいいなど。次の50年に向けて、新しい時代への橋渡し…なんていうと大げさなんですけど」と相好を崩して最後に波木井さんはこう付け加えます。

「とにかく、先入観なしに聴きにきてください、というのがお願いします(笑)」

〈知っておきたい！ 用語・知識集〉

*1 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

オランダのアムステルダムに本拠地を置く世界三大オーケストラの一つ。音色は「ピロードの弦」「黄金の金管」とも称えられる。世界最高級の音響を誇るホームホール（「コンサートヘボウ」とは「コンサートホール」という意味でもある）ではマーラーやリヒャルト・シュトラウスが自ら演奏をしたことでも有名。

*2 最高級の演奏家

波木井さんは、奥様でもありソロ・ヴァイオリニストとして世界的な活躍をしている菊池裕美氏との共演も多い。お二人は現代音楽の最高峰ともいわれるクルターク・ジェルジュ氏からご夫婦の名前を冠した曲を贈られるほど信頼されており、練習熱心で自らを厳しく律する奥様を波木井さんは演奏家として心から尊敬しているとか。

*3 クルターク・ジュニア氏

クルターク・ジェルジュ氏の息子で、父同様、作曲と演奏を行う。電子楽器を使ったインプロヴィゼーションを得意とし、父との共作を含む「クルターク生誕80周年コンサート・ライブ」CDは現代音楽で大きな話題となった。

*4 シンセサイザー

電子工学的に合成した音によって楽曲の作曲、演奏を行う装置。音楽の分野でシンセサイザーという場合、鍵盤のついた電子楽器を指すことが多い。50周年の記念式典演奏会では、3台のシンセサイザーとハンドソニックと呼ばれるデジタル・ハンド・パーカッションが使われる予定。

ヴァイオリンとヴィオラの違い

ヴァイオリンの最低音は「ソ」、ヴィオラのそれは「ド」である。ヴィオラの音色はヴァイオリンと比べて渋く、どちらかといえば地味であるが、そのぶん他の楽器の音と溶け合い膨らみを与える。オーケストラの中では管楽器とブレンドさせて用いられることも多く、音旋律よりも伴奏音型を受け持つことが多い。ヴィオラはフランス語で「alto」。声楽のパート分担に置き換えるとその役割がイメージできるのでは。

あとがき

今回お話をうかがい、穏やかな口調ながらも、光陵高校から音楽の道へ進むことを決意した波木井さんの苦悩や、音楽に対する熱い想いが伝わってきました。日常生活の中では接することの少ない音楽の世界。その世界のプロのお話にも強く惹きつけられました。

紙面の都合上、全ての内容を掲載することはできませんでしたが、インタビューさせていただいた中で特に印象に残った言葉があります。それは、「環境を活かすか活かさないかは自分次第」というものです。これは、ひたむきに音楽と向き合っている波木井さんがおっしゃるからこそ、強

く胸に響いたのだと思います。

与えられた環境の中で、いかにチャンスを見つけ、自ら掴みにいくか。また、そこで満足せずにその先も、自分を磨く努力をし続けることができるか。私は今、大学や光陵会など、新しい経験ができる素晴らしい環境の中にいます。ただ現状維持を図るのではなく、その先を目指して励んでいこうと思います。

常に最高の演奏を目指す波木井さんが今回、世界初のコラボレーションに挑みます。世界が恋する旋律を聴きに、県民ホールへぜひ足をお運びください。

(46期 萬紗帆、末吉敦)

平成26年3月/平成27年3月 (※) 合格状況

※ 平成27年3月については速報人数

I. 全体的な状況

(1) 平成26年3月 卒業生

Table with 2 columns: Category (卒業生数, 就職者数, etc.) and Value (237, 0, 237, etc.)

(2) 過年度卒業生

Table with 2 columns: Category (延合格者数) and Value (129)

II. 進路状況(合格者数)

(1) 国公立大学

Table with 5 columns: 学校名, 平成27年(3/23時点) 総数, 平成27年(3/23時点) 現役, 平成26年 総数, 平成26年 現役, 平成25年

(2) 大学院

Table with 5 columns: 防衛大学院, 総計

(3) 私立大学

Table with 5 columns: 学校名, 平成27年(3/23時点) 総数, 平成27年(3/23時点) 現役, 平成26年 総数, 平成26年 現役, 平成25年

Table with 5 columns: 学校名, 平成27年(3/23時点) 総数, 平成27年(3/23時点) 現役, 平成26年 総数, 平成26年 現役, 平成25年

寄贈報告

光陵会は毎年、光陵高校に20万円を上限とした寄贈を行っております。

昨年度も例年と同様、学校からの要望をお聞きしましたが、50周年に関する寄贈を希望されていたため、50周年事業に合わせ実施することで合意し、見送ることといたしました。

今後も有意義な寄贈が行えるよう継続して取り組んでいきますので、ご意見・ご要望がございましたら、同封のハガキにてお寄せいただければ幸いです。

(45期 安藤えり子)

平成26年度 部活動実績(抜粋)

Table with 2 columns: 部活 (サッカー部, 女子ハンドボール, etc.) and 成績

教職員異動

【平成25年度 離退任者】

Table with 3 columns: 氏名, 教科, 転出先

【平成26年度 新着任者】

Table with 3 columns: 氏名, 教科, 転出元

光陵卒業生人材バンク登録のお願い

光陵高校では、毎年、卒業生による「キャリアガイダンス」を実施しています。これは、様々な分野で活躍する卒業生が講師となって、自らの勤労観・職業観、これまで経験してきた仕事や若き日の進路選択などについて現役生にお話しし、現役生が将来を考える参考にしてもらうというプログラムです。例年約20名の卒業生が参加しています。光陵会は、講師として参加いただける卒業生をご紹介しますという形で協力をしており、今年度も講師を募集しております。趣旨に賛同し、講師として参加していただける方は、下記までご連絡ください。

「光陵高校光陵会」宛（住所：〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1）または4期 大道正夫宛（mail：omichim@nifty.com）

♪青春かながわ校歌祭のお知らせ♪

10回目を迎える青春かながわ校歌祭に今年も参加します。例年、光陵高校の音楽室などをお借りして練習会を行っていますが、当日のみの参加も歓迎します。

練習日程や参加費（昨年は500円）など、詳細は光陵会ホームページなどでお知らせします。

お問い合わせは光陵会スタッフ（staff@koryokai.jp）までお願いいたします。

日時：平成27年10月17日（土）

会場：秦野市文化会館（秦野市平沢82）

主催：かながわ校歌振興会

共催：神奈川県教育委員会

📖 会員名簿の取扱いについて

光陵会では平成27年9月に会員名簿の発刊を予定しています。昨光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは**光陵会とは一切関係ございません**ので、内容を確認の上、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。光陵会では第三者に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意の上、外部への流出がないよう、ご配慮ください。

会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局より手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、ご入金の確認後1カ月程度のお時間をいただいております。期間の余裕を持ってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿はお一人様一冊までとなります。

宛先：「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

あ 今年も、緑を渡る風とともに、卒業生の皆様にこの会報をお届けすることができ、大変うれしく思います。『ごんた坂』20号、いかがでしたか。
と 今回も45期・46期を中心とした学生スタッフが主体となり、話し合いを重ね、皆様に楽しんでいただける会報を目指して制作を行いました。ぜひすべての記事に目を通していただき、興味を持っていただければ幸いです。

が 光陵は今年で50周年を迎えます。会報とは別紙にて、50周年についてのお知らせを同封しましたので、そちらもご覧ください。50年という長い歴史の中で、さまざまな変化がありつつも、光陵ならではの良さは変わらずに今も受け継がれていることを誇りに思います。そしてこれからの光陵の新たな歴史がより一層素晴らしいものになるよう、卒業生、現役生ともに努力していきたいです。また、今年も総会の時期

卒業生からの便り

昨年の会報発行後に事務局へ寄せられたコメントをご紹介します。

- 『踊る!ブラジル(小学館)』という本をつくりました。編集が私、写真・文は同級生の田中克佳君です。卒業30周年の卒業制作…ぜひ書店でご覧ください！ (16期 男性)
- 近所の歯科に娘を連れて行ったところ、その先生が光陵OBでした。とても感じの良い親切な先生でした。母校を誇らしく思える瞬間です。 (17期 女性)
- 街中で光陵の制服を見かけると応援したくなります。(21期 女性)
- 15期ぐらい若い光陵生に出会った。なぜか可愛がってしまう(笑) (29期 男性)
- 45歳で退職して始めた「沖縄ショップがじゅまる」は平成26年に10周年を迎えました。さて11周年は迎えられているか…。 (旧職員 松崎信也さん)
- いつもありがとうございます。子供が高校生活を楽しんでいる姿を見て、自分の時を思い出します。(17期 女性)
- 志を持って学び働いていきましょう！ (3期 男性)
- 県庁は黒川副知事、金子局長をはじめ、光陵の先輩が多く活躍されていることを最近知りました。(11期 男性)
- 『睡眠のはなし(中公新書)』内山真(5期)光陵卒、日大医学部教授(兄です)。ぜひお読みください。よく眠れますよー！ (8期 女性)
- 居住している浦和にて野球部のバスを見かけ、懐かしくずっと見送った日、郵便受けに『ごんた坂』を発見！運命を感じました。(12期 まだ迷っている大羊)
- 今から36年前に光陵高校で教育実習をやりました。母校で働くことが私の夢でしたが、今では小学校に勤務しています。よい思い出です。(7期 女性)
- 海外留学(university,college等)希望の人(生徒)がいれば是非アドバイスします。プロ野球選手パレンティンが私の友達ですので、野球部に講演会等(紹介)できればいいですね。ただ大学へ行くのではなく、将来何がしたいのかを強く考えて欲しいですね。(35期 女性)
- 北海道千歳市で『赤毛のアン』の原書講読会を6年前に立ち上げ、もう250回目となりました。(旧職員 男性)
- 最近小説を書いています、この前高校の描写をすることになり…光陵の姿を思い出しつつ書きました。(14期 女性)
- 校歌に「光陵我をつくり、我ら光陵をつくる」という歌詞がありますが、光陵は在校生、卒業生共に愛校心がとても強い高校だと思えます。これからも誇りと愛着を持ち続けられる高校であって欲しいと願っています。(15期 女性)

今年も皆様からの感想、コメントをお待ちしています。同封しておりますハガキの自由記述欄にコメントをお寄せください。いただいたコメントの中から一部を来年度の会報でご紹介させていただきます。

が近づいてきました。これまで参加されたことなかった方も、50周年を機にぜひ総会・懇親会にいらしてください。

光陵会ではSNSや光陵会Webサイト(<http://koryokai.jp/>)も運営しております。母校や光陵会に関する情報をお探しの際にはぜひご覧ください。

会報を発行するにあたり、多くの先輩方と交流できたことをうれしく思うとともに、ご多忙の中お時間を割いていただき、ご協力してくださった多くの皆様に心より感謝を申し上げます。事務局では引き続き光陵の魅力をお伝えしていけるよう、新たに47期の有志を加え、より一層積極的に活動を行いたいと思っております。最後に、会員の皆様のご多幸をお祈りしつつあとがきに代えさせていただきます。

(事務局一同 文・46期 野村茉結)